

# モニタリング結果報告書 (令和元年度)

## 1. 施設概要

施設名	津久井湖城山公園		
所在地	相模原市緑区城山・小倉・太井・根小屋		
サイトURL	<a href="http://www.kanagawa-park.or.jp/tsukuikoshiroyama/">http://www.kanagawa-park.or.jp/tsukuikoshiroyama/</a>		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(H11. 4. 1)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川県公園協会		
指定期間	H27. 4. 1 ~ R4. 3. 31 (2015年) (2022年)	施設所管課	都市公園課

## 2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>利用状況の評価はB、利用者の満足度の評価はS、収支状況の評価はSで、3項目評価はAとなった。 利用者数の目標値が高いこともあり、利用状況がB評価となったが、本公園の特性を十分に踏まえ、歴史や自然に精通した職員による遺構見学会、津久井城ガイドツアー、自然観察会などの様々なイベントを定期的開催するなどした結果、利用者数は年々増加しており、指定管理者の努力がうかがえる結果となっている。引き続き魅力のあるイベントを実施するとともに、満足度を維持することで、利用者数の増加に努めてもらいたい。</p> <p>3項目の評価以外の各項目については、苦情・要望件数が5件あったが、迅速かつ適切に対応されていた。事故・不祥事については、指定管理者の管理運営が原因となったものではなく、施設・利用者の安全管理については極めて評価が高い。 引き続き、質の高い管理運営業務を行ってほしい。</p>	
<p>&lt;各項目の詳細説明&gt;</p> <p>◆管理運営等の状況 提案に基づいて、収穫感謝祭など様々なイベントを実施した結果、前年度利用者数を上回る利用客があるなどの実績を上げた。維持管理業務においては、当公園の特性を踏まえ、希少種に配慮した維持管理を行ったほか、下草刈りや植え込みの人力除草など管理水準以上の維持管理を行った。また、台風により園路への土砂の流入が多数発生したが、速やかに撤去作業を行い、通行止めを早期に解除させるなど、迅速な対応を行った。一方、ボランティア団体と協力して利用者に歴史や自然を学ぶ場を提供したり、市の埋蔵文化財に関する学術調査に協力するなど、公益財団としての使命を十分に果たしている。</p> <p>◆利用状況 提案に基づき、様々なイベントを実施した結果、来園者については、目標値に対して96.6%と目標に達しなかったためB評価となったものの、対前年度比では104.5%と年々来園者が増えており、指定管理者の努力がうかがえる。</p> <p>◆利用者の満足度 県が年間7回調査を実施し、「満足」「どちらかといえば満足」の回答割合が99.1%となったため、S評価となった。</p> <p>◆収支状況 来園者の増を受けて、自動販売機の利益収入が当初計画額より383千円増となるなど、指定管理者の努力がうかがえた。支出については、概ね計画どおりの支出であった。収支比率は106.34%となったためA評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 指定管理業務に起因する苦情・要望は5件あったが、迅速かつ適切に対応していた。園内清掃やトイレ清潔など来園者の目に付きやすい箇所に対する苦情は1件も無く、高評価である。</p> <p>◆事故・不祥事等 作業員が作業中にツタウルシによるかぶれを発症する案件が1件発生したが、作業にあたり必要な対策は行われていた。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査や労働基準監督署からの指摘事項はなく、良好な労働環境の確保に取り組んでいた。</p> <p>◆その他 なお、令和元年度の3項目評価についてはA評価とした。今後は、引き続き、利用者の満足度の高さの維持に努めるほか、更なる利用者の増加に向けた対策や利用者の安全に配慮した維持管理運営に努めてもらいたい。</p>	
3項目評価	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう
A	

### 3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	随時	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

### 4. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
4月にさくらまつりを実施。地元観光協会や商工会とも連携しながら推進し、利用者数の向上を図る。計画参加者数は30,000人	4月6日(土)、7日(日)、13日(土)、14(日)にさくらまつりを実施。津久井観光協会及び城山観光協会等と共催し、盛大にイベントが行われた。参加者数は、42,200人であった。	観光協会との共催により幅広くPRするなどして、計画以上の実績を上げた。
5月にルピナスまつりを実施。地元観光協会や商工会とも連携しながら推進し、利用者数の向上を図る。計画参加者数は1,000人	5月19日(日)にルピナスまつりを実施。ルピナス1万株が咲き誇る中、ステージでのイベントや地域特産物の販売などが行われた。参加者数は2,000人であった。	天候にも恵まれ、多数の参加があり、計画以上の実績を上げた。
11月に収穫感謝祭を実施。150名以上の公園ボランティアと協力しながら推進し、利用者数の向上を図る。計画参加者数は1,500人	11月24日(日)に収穫感謝祭を実施。ボランティア団体により、公園内で収穫した小麦を使ったうどん・なべの提供や、工作体験教室などが行われた。参加者数は1,000人であった。	天候に恵まれなかったため、参加人数は計画を下回ったものの、作業を通じボランティアとの関係を深めることができた。
11月に第5回つくい湖湖上祭を実施。実行委員会形式で指定管理者も参加し、利用者数の向上を図る。計画参加者数は10,000人	11月17日(日)につくい湖湖上祭を実施。津久井青年会議所等と協力しながら地元の魅力のPR等が行われた。参加者数は12,000人であった。	天候にも恵まれ、計画以上の参加人数となった。
11月につくい湖イルミネーションを実施。実行委員会形式で指定管理者も参加し、利用者数の向上を図る。	11月17日(日)のつくい湖湖上祭で点灯式を行った後、1月3日までの間、メタセコイアの大木をシンボルツリーに、観光センター周辺でイルミネーションを実施した。	県のたよりに掲載するなど、各方面でのPRも行った結果、休日を中心に多くの方が訪れ、好評であった。

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の主な内容	実施状況等
<p>◆バーベキューの運営 みどり豊かな自然の中で、利用者に人気の高い飲食スタイルとして、広く県民の皆様にご利用していただくことを目的とする。また、提供するメニューも地元で採れた肉や魚、野菜等、安全安心な食材を用意する等、地域振興と利用者の健康に配慮したバーベキュー運営を実施する。</p>	<p>4月から11月、及び3月の間、花の苑地で実施した。収支の実績は△381千円であった。平成26年度からの実施で、徐々に知られるようになってきたが、計画収支は407千円であり、目標達成のため更なるPR等の努力が必要である。</p>

## 5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
B	

	前々年度	前年度	令和元年度
利用者数※	479,704	501,235	523,904
対前年度比		104.5%	104.5%
目標値	522,580	532,440	542,300
目標達成率	91.8%	94.1%	96.6%

目標値の設定根拠：

提案書記載の目標値

利用者数の算出方法（対象）：

駐車台数、団体利用数から推計

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

## 6. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施	本報告書では、県による休日3回、平日3回、イベント時1回の計7回調査の結果を使用する。指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に利用者から高い満足度を得ている。

[ サービス内容の総合的評価 ]

質問内容 公園の管理運営を総合的にみるといかがでしたか。

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 115 / 115 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	80	34	0	0	1	115	不満理由の記載なし
回答率	69.6%	29.6%	0.0%	0.0%	0.9%		
前年度の回答数	84	15	3	2	0	104	
前年度回答率	80.8%	14.4%	2.9%	1.9%	0.0%		
回答率の対前年度比	86.1%	205.0%	0.0%	0.0%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

## 7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
S	

[ 指定管理業務 ]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	145,920	0	413	自販機413	146,333	146,333	0	
	決算	145,920	0	901	自販機901	146,821	142,870	3,951	102.77%
前年度	当初予算	145,920	0	423	自販機423	146,343	146,343	0	
	決算	145,920	0	858	自販機858	146,778	143,378	3,400	102.37%
令和元年度	当初予算	148,622	0	433	自販機433	149,055	149,055	0	
	決算	148,622	0	816	自販機816	149,438	140,527	8,911	106.34%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和元年度 /                      前年度 /                      前々年度 /

<備考>

8. 苦情・要望等  該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	来園	1 件	①園路の舗装が傷んでおり車椅子での通行がしづらい。	①県に要望内容を伝えるとともに、指定管理者が応急的な補修を実施した。
		件		
職員対応	電話	1 件	①駐車場門扉が閉園時間より前に半分閉められていて車がぶつかりそうになった。	①再発防止のため委託業者に指導した。
		件		
事業内容	電話	1 件	①イベント開催日に、駐車場が混雑したことから、障がい者駐車区画も使用していたため、障がい者を乗せた車両が利用できなかった。	①協会本部より障がい者駐車区画に一般車を誘導しないように各公園に通達した。
		件		
その他	来園	1 件	①登山道でトレイルランをしている方とぶつかったので、禁止してほしい。 ②整備、清掃が行き過ぎており、草花、樹木の伐採を過度に行うことにより、生物の生息にも影響を与えているのではないかと。	①県に確認の上、禁止事項にはあたらないことから、利用者へのお願いとして十分に注意するよう呼びかけることとした。 ②県が作成した自然環境保全計画に基づいて管理を行っており、貴重種など自然の動植物に配慮しながら、適切に管理を行っていく旨回答した。
	メール	1 件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等  該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
R1.9.9	①倒木撤去作業後、職員2名がツタウルシによるかぶれを発症。 ②病院での受診後、指定管理者より報告書の提出を受ける。 ③症状が治まらないことから、4日後に病院で診察を受ける。 ④無し ⑤長袖作業着に布製アームカバー及び手袋を装着していたが、症状が発生。 ⑥無し

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。